

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	電磁気学第二演習		
英文授業科目名	Exercises in Electromagnetism II		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	稲葉 敬之		
居室	西8-609		

公開E-Mail	授業関連Webページ
inaba@ee.uec.ac.jp	http://ilab.ee.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
電磁気学は自然界の森羅万象の電磁現象を理解するための基礎であるとともに、電子工学の要をなす学問で、電気回路、半導体工学、電磁波工学の基礎となる。演習では授業で学んだ電磁気学の理解を深めるために具体的な問題を解く。

【前もって履修しておくべき科目】
電磁気学第一、電磁気学第一演習、 電気数学第一、電気数学第一演習、電気数学第2、 電気回路学第一、電気回路学第一演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
力学第一、力学第二

【教科書等】
砂川重信著：電磁気学 「改訂版」初めて学ぶ人のために（培風館） 配布資料

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容：電磁気学第2で学んだことを演習問題を実際に解くことにより、理解を深める。また、電子工学等への応用に関する問題を解き、数値的イメージを身につける。

(b)授業の進め方：講義とほぼ並行した演習問題を授業中に解答し、提出する。難しい問題については、適宜、解説する。レポート用紙(A4)を準備すること。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業時間外の学習（予習・復習等）について：演習問題で分からなかった問題については、教科書等を参照し、再度、解いてみること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席、授業中の演習問題の解答および試験(中間、期末。両者とも受験は必須)を総合して評価する。アンペールの法則、ピオサバールの法則、電磁誘導、変位電流、インダクタンス、磁性体、磁気双極子、マクスウェルの方程式、電磁波の基本を理解し、教科書、配布資料の演習問題相応のレベルの問題に解答できることが最低達成基準である。

【オフィスアワー：授業相談】

事前にメール等でアポイントをお願いします。

【学生へのメッセージ】

実際に授業に出て、かつ、演習問題を解くことが大切。TAの院生の直接の指導も受けられる。

【その他】

特になし。